

## 患者家族宿泊施設

札医大も来春開設

### 北電が寄贈

札医大は来年三月、同大構内（札幌市中央区南一西一八）に、入院患者の家族らの宿泊施設「ファミリーハウス」を開設する。北電が創立五十周年事業として、施設を同大に寄贈、南山英雄北電社長が二十六日、道庁で堀達也知事に目録を手渡した。

施設は鉄骨二階建て、

延べ五百四十平方メートル。部屋は十室。十畳程度の洋室で、風呂（ふろ）やトイレ、テレビも設置する。十月に着工し、来年三月に完成予定。建設費は約一億三千万円。同大は、長期入院患者の家族が、低料金で利用できるようにする。

北電は、北大医学部付属病院にも同じようなファミリーハウス（来年三月完成予定）を寄贈した。